

獨協埼玉中学校 学校評価 第三者評価 (2018 年度)

学習習慣の定着について

1. 一貫校では高校受験が無いため、どの学校でも中だるみが問題になっている。
卒業生や高校在校生の体験談などを聞かせるなどキャリア教育をきっかけとして目的意識を高める必要があるのではないか。
2. 家庭学習を充実させようとしているが、そもそも家庭や自分の部屋が勉強のできる雰囲気になっているのだろうか。学校に残って勉強するのも一つの方法ではないだろうか。

指定校推薦の利用について

大学入試では指定校推薦などで入学した生徒より一般入試で入学した生徒の方が確実に学力が高く、また精神的にも強いものを持っていると判断している。そのことは企業の採用試験でも同様に考えられているので、保護者に一般入試の重要性を理解してもらう必要があると思われる。

携帯電話によるトラブルの解消について

スマートフォンの使用方法に関しては大人でも車内や歩行中に使用しているため、言葉での注意では説得力が不足しているのではないか。それよりも本質的な問題やなぜ使用制限があるのかなど、考えさせることで価値観を育てるべきではないか。

学校教育の内容を外部へ発信することに関して

作りこんだ動画や写真ではなく、生徒の日常（部活の様子や行事風景など）をもっと発信してよいのではないか。全国大会に進出する写真部やサイエンスクラブなどの活動などもホームページに掲載してはどうか。

自己管理能力を高める工夫について

依存心が強く、自己管理ができない生徒は学力にも問題があることは明白であり、早く自立させることが大切である。保護者会や説明会などの機会に保護者のやるべきこと、やってはいけないことなどを伝えてはどうか。

令和元年 6月17日